

若葉が丘だより 初秋号



ご挨拶

九月に入っても、夏を思わせるような暑い毎日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

「やっぱり家はいいいね。」

御自宅へ退所され、ショートステイを御利用されている御利用者様から聞かれた言葉です。

在宅生活を継続していくうえで、食事、排泄、運動機能の維持（起き上がる、座る、歩く等）等、御家族様も日々試行錯誤されているのではないのでしょうか。また、自発的に食事を食べられなかった御利用者様が、御家族様の熱意と協力で、食べられるようになった例もあります。御家族様の力は大きいと日々感じます。

どんな些細と思う事でも、困ったことがありましたら、いつでも御相談していただけたらと思います。

これからも、御利用者様と一緒に支えていきたいと思っておりますので、よろしくお願致します。

看護師長 三島 ひろみ

目次

- 入所フロア …………… 2.3
- 通所フロア …………… 4
- リハビリ …………… 5.6
- 相談室 …………… 7
- スタッフインタビュー …… 8

お知らせ

毎年、8月に開催されていた若葉が丘の一大イベントの夏祭りを今年は一押し、秋祭りとして下記の日程で開催することに決まりました！

10月21日(日)

現在、着々と準備が進んでいますので、楽しみにお待ちください！！

まだまだ暑い日が続きますが、夏の疲れが出やすい季節になってきますので、お体を大事にお過ごしください。

こちらのQRコードからホームページへアクセス！！

Search

若葉が丘

Click



医療法人社団 若葉会
介護老人保健施設 若葉が丘
〒224-0057
横浜市都筑区川和町2674-1
Tel 045-948-1281
発行 平成30年9月 VOL.2

夏と言えば・・・そあ！！

すいか割り！



「エイエイオー！」
気合を入れて挑みます！

割れた人も割れなかった人も
みんなで楽しみました！！

暑い夏はスイカがおいしい～♪♪



ソフトクリーム！



抹茶・イチゴ・チョコ味
お好きな味をどうぞ！！

自分で作ったソフトクリームの
出来に大満足の笑顔☆

おいしいから食べてみて！！



若葉が丘 2Fフロア



かわいいゴーヤを見つけました!

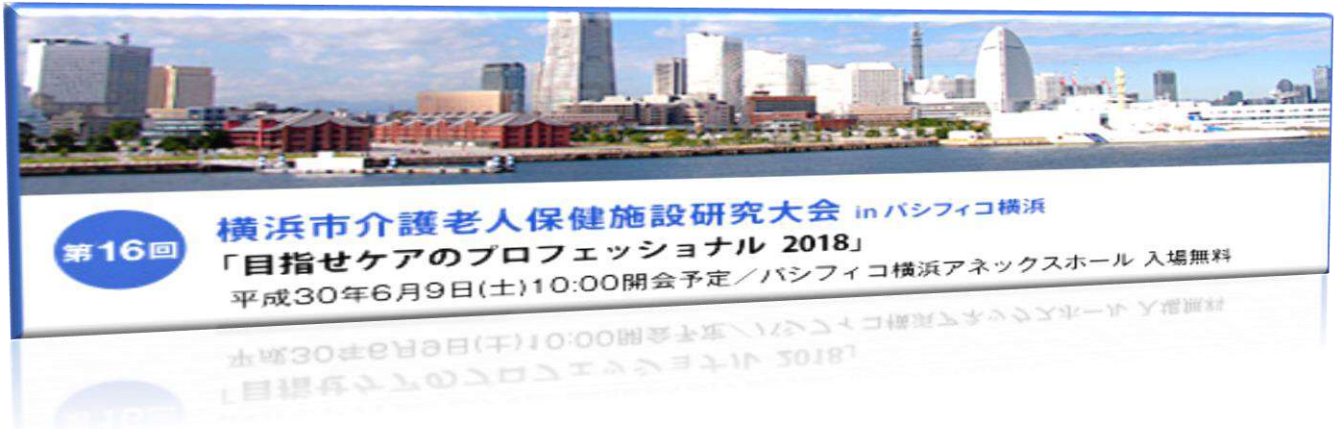
立派に育った野菜たちをみんなではりきって収穫!!
トマトもとって、こんなにたくさん収穫できました!!



土に触れて、
野菜に触れて、食べる。
昔から、
当たり前にしてきたことが
当たり前に出れる。
自然のぬくもりを感じるこ
とを大切にしたいと思い、
若葉が丘では季節の野菜や
花を育てています。



最後は、美味しくいただきました!



老健大会とは、老健施設が互いに連携し、日頃提供させて頂いているサービスやケアを研究し、施設間での情報の共有や知識を深め合う場となっております。

～通所リハビリ～

『通ってリハビリ！作ろう！みんなで壁面クラフト 制作物～明日へのやりがい作り～』

5年ほど前からテーマを決めてフロアの壁面に大きなひとつの作品を制作し飾り付けております。皆様でひとつの作品、通所ならではの大作を作ることでやりがいもてるのではないかと考えました。その活動を振り返り、御利用者にとって意味のある時間なのか考えると同時に御利用者様がどう感じているのかを調査致しました。作品を作ってみてのアンケートと結果です。

①感想

- ・次々にできる部分の仕上がりが楽しみ。
- ・作業が楽しい。これからも続けたい。
- ・作業が小さいものだけに大変だった。 など

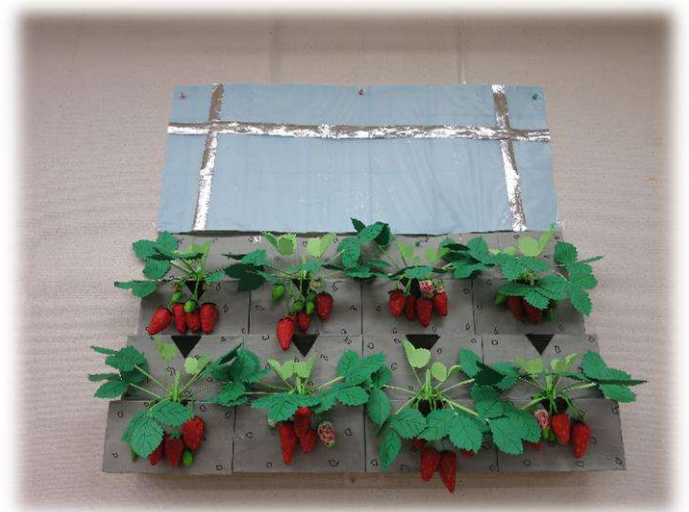
②楽しかったですか？

- ・アンケートに参加して頂いた全員が「楽しかった」と仰っていただけました。

③仕上がりを見てどうでしたか？

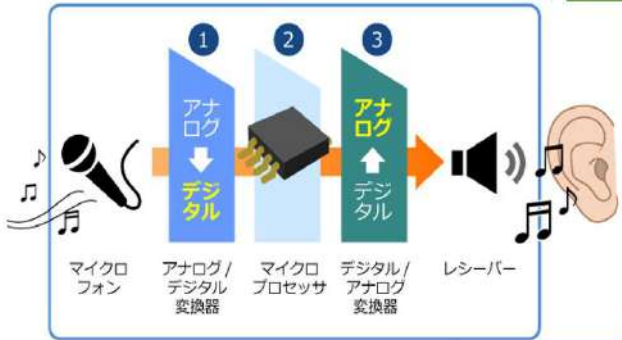
- ・皆で頑張ったことがとてもいい。
- ・出来上がりの見事さに感動。
- ・見ていても楽しい。嬉しい。 など

作品制作を通して、利用者同士で協力する、分担する、などのコミュニケーションをとりながら行える活動ができました。又、できた作品を飾ること、見てもらうことでの達成感、やりがいになっていけばと考えております。身体のリハビリだけではなく、感動や喜び、笑いなどを呼び起こす心のリハビリができるような通所リハビリテーションを目指していきたいと思っております。



老健大会に参加してきました

補聴器の仕組み



～リハビリ課～

『きこえることで 広がる世界
～補聴器の装用により認知機能が改善し、
ADL の向上にも繋がった症例～』

若葉が丘での補聴器の取り組みや補聴器を使用したことで認知機能や日常生活動作能力が向上し在宅復帰に繋がった症例について発表しました。

～発表を通して～

聴覚は人間の感覚器官の中でコミュニケーションなどに重要な役割を果たしており、補聴器の適切な装用により認知機能・ADL 面、ひいては意欲の向上などの QOL 向上も期待できると考えられます。聞こえが改善し、コミュニケーションが円滑に取れることで、家族の精神面・肉体面の負担や不安が軽減することは多く、今回発表させていただいた症例の方のように気持ちの変化が在宅復帰に繋がるケースもあるため、聞こえることの重要性は高いと感じました。

耳かけ型



耳あな型



ポケット型

他施設では補聴器の装用を勧めているケースはまだ少ないようでしたので、この発表を通じて少しでも補聴器の効果を知って頂ければと思います。

その後の経過として・・・

H29.3
家に帰りました！



H30春にも再び家に帰り、
お誕生日を祝いました！

平成30年8月20日 主催者様より ご連絡いただきました。

・・・「第16回横浜市介護老人保健施設研究大会」における「発表演題を選考した結果、貴施設の演題が優秀演題に選ばれましたので、ご連絡申し上げます・・・

記 優秀演題賞 演題名： きこえることで 広がる世界

当施設の取り組みについて取材を受け
福祉新聞 2018年5月号に掲載して頂きました。

専門店と連携 難聴者の聞こえを支援

介護老人保健施設 若葉が丘 (横浜市)



認定補聴器専門スタッフが毎月来所し、利用者聞こえの状態をチェックする

意思疎通で希望のケア実現

横浜市都筑区の医療法人中野若葉会(中野若葉)の介護老人保健施設若葉が丘は、認定補聴器専門店と連携して難聴利用者の補聴器費用を支援している。コミュニケーションが向上することで、個々の「あしき」が引き出され、希望に添ったリハビリやケアの実現につながった。在宅復帰も進み、職員も負担軽減にも役立っている。(井口拓也)

若葉が丘(入所者数1つながらが遠くはないよ、神奈川県川崎市)販売部00人・通所30人、平均年齢70歳)は、地域行事に積極的に参加する。また、施設内では、地域に密着した医療・介護、在宅復帰を推進している。リハビリを中心に続けていく活動に力を入れている。特徴的な支援の一つは、「補聴器」を活用する。若葉が丘が2017年に開設した「テクノエイド協会」が、聞こえの状態が良く、入所後も地域の認定する補聴器専門店となり、コミュニケーション

施設と福祉機器 第61回 活用すればこれだけ変わる



聴力を検査する大平ST(左)

すには自宅と同じように生活していただくことが大切。自宅に補聴器を使っているのは当たり前という意識が大切。補聴器は、聞こえを良くすることで、コミュニケーションが向上し、希望のケアを実現できる。また、1年前からは入所時に補聴器の有無を確認し、自宅に補聴器があれば、持ち帰っていただくことも始めた。

た。きっかけは、補聴器に身体機能が変化し、聞こえの状態が悪化し、意思疎通できない状態でも入所したことで改善。補聴器を通して、聞こえが良くなり、在宅復帰した。結果は、採用に否定的な意見はなく、多かったです。補聴器の入れ方や音質調整の仕方などが分からない」といった不安の声があった。そこでリハビリ室は、大平和佳子(言語聴覚士)を中心に、使いやすい方法を模索し、家族の理解を得て購入する。また、介護職員にも費用を支援することの大切さが浸透し、電池が残り、聞こえにくくなる大平STに連絡が来るようになった。

87歳男性が購入したポケット型補聴器。リハビリやケアの実現に役立っている。聞こえを良くすることで、コミュニケーションが向上し、希望のケアを実現できる。また、1年前からは入所時に補聴器の有無を確認し、自宅に補聴器があれば、持ち帰っていただくことも始めた。

「聞こえが良くなると、コミュニケーションが向上し、希望のケアを実現できる。また、1年前からは入所時に補聴器の有無を確認し、自宅に補聴器があれば、持ち帰っていただくことも始めた。」

※字が小さく見え辛いと思いますので、御興味のある方はリハビリ科までお問い合わせ下さい。

今回の研究大会の発表や福祉新聞様の取材を通じて、日頃のプログラム内容を検討し、今までの経過を追うことで今後の課題や改善点が発見出来、大変良い経験になったと感じています。御協力頂きました利用者様・御家族様、スタッフの方々に重ね重ね感謝を申し上げます。ありがとうございます。



介護保険制度改正 (H30年4月) による自己負担額見直しについて

3割負担の導入

世代間等の公平性を保ち、介護保険制度を持続させていくという観点から、一部のサービス利用者の自己負担を2割から3割に引き上げることになりました。ただし、月額44,000円の負担上限が設定されています。【平成30年(2018年)8月～】

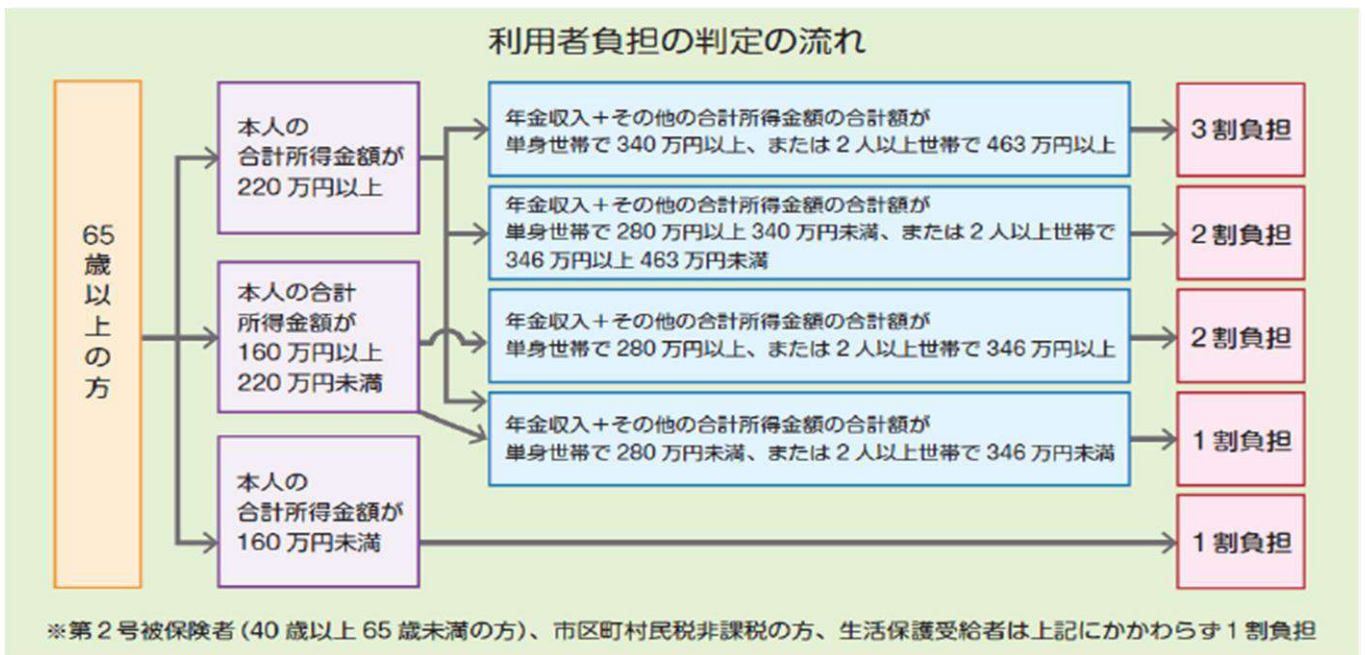
3割負担の対象となる方

65歳以上で、本人の合計所得金額が220万円以上の方は、3割負担となります。

(ただし、上記に該当する方でも、同一世帯の65歳以上の方(第1号被保険者)の「年金収入+その他の合計所得金額」が単身で340万円、2人以上で463万円を下回る場合は1割負担または2割負担となります。)

※2割負担または3割負担となるのは、一定以上の所得を有する本人のみとなり、同一世帯内の第1号被保険者でもそれぞれ負担割合が異なることがあります。

※利用者の負担額には、月額の限度額(高額介護サービス費の仕組み)があるため、実際の負担は、負担割合が2割または3割になったすべての方が2倍または3倍になるわけではありません。



※「合計所得金額」とは、収入から公的年金等控除や給与所得控除、必要経費を控除した後で、基礎控除・人的控除などの控除をする前の所得金額をいいます。

※「世帯」とは、住民基本台帳上の世帯を指します。

※「その他の合計所得金額」とは、合計所得金額から、年金の雑所得を除いた所得金額をいいます。

お住まいの市区町村より介護保険負担割合証が交付されています。

現在お持ちの介護保険負担割合証は要介護(支援)認定等を受けている方に、8月から使用する負担割合証を7月中旬～下旬に市区町村より郵送されています。(有効期限は7月末までとなっております。)負担割合証の内容を確認してください。一定以上所得者は、利用者負担割合の2割または3割が表記されています。それ以外の方は、利用者負担割合が1割と表記されています。

※お手元にH30年8月からの介護保険負担割合証が届いていない場合はお住まいの市区町村役所の保険年金課まで確認をしてください。

(例)横浜市介護保険負担割合証

介護保険負担割合証		交付年月日 H . .	
被 保 者	番号		
	住所		
	氏名		
利 用 者	生年月日	大正 年 月 日	性別
	利用者負担の割合	適用期間	
	1割	開始年月日 H . .	終了年月日 H . .
保険者番号並びに保険者の名称及び印		1 4 1 0 3 6 横浜市	

若葉が丘 スタッフ紹介



大澤 和美

生年月日：昭和46年10月9日
職 種：介護士

担当フロア：2階

干 支：いのしし
勤続年数：1年

仕事に就いた
きっかけは？

訪問介護で働いている知人の仕事に興味があり見学したところ
「私もやってみたい！」と思ったのがきっかけです。

あなたの趣味は？

ぬか漬けにはまっています。
おすすめは長いもとみょうがです。

ストレス解消法は？

お笑いのビデオやご長寿クイズを YouTube で見て腹をかかえて笑うことです。
近所のスナックに行ってカラオケですっきりしてます(笑)

将来の夢は？

孫はまだいませんが、子供達に内緒で孫とお酒を飲むことです。

菅崎 利恵

生年月日：平成5年6月4日
職 種：介護士

担当フロア：2階

干 支：とり
勤続年数：半年



何か新しいことに挑戦したいと思った時に思い浮かんだのが介護
の仕事でした。

仕事に就いた
きっかけは？

趣味は音楽鑑賞とカメラで写真を撮ることです。
休日はかわいいカフェに行ったり、きれいな景色を撮りによく出
かけています。

あなたの趣味は？

初めてひとり旅をした時に山で遭難しかけてヘリコプターで救
助されたことです。(笑)

忘れがたい
エピソードは？

幸せな家庭を築くことが夢です。

将来の夢は？